

# はじめに

このたびは「TelePort 301」または「TelePort 301G」(以下本書ではTelePortと呼びます)をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。TelePortを正しくお使い頂くために、この取扱説明書をよくお読み下さい。

## 使用上の環境をご確認下さい

### ① 回線を準備しましょう

ギンガネット電話「TelePort」は、「ISDN回線」が必要になります。以下の内容をよくお読みの上、必要な通信回線をご用意下さい。

- ・ISDN回線は、高品質で安定したデジタル回線です。
- ・1回線で従来の電話回線2本分を使用できます。
- ・通信料金は従量制なので、使った分の通信料だけがかかります。
- ・一般電話・携帯電話・PHSともつながります。

TelePortの通信には、ISDN1回線分すべて(従来の電話回線2本分)を使用します。TelePortを使用している間は、電話やインターネットを同時にご利用頂くことができません。TelePortを使用している間にかかってきた電話の着信履歴を残したい場合には、NTTの「通信中着信通知サービス」のご利用をお勧めします。さらに相手のメッセージを残したい場合は、NTTの「マジックボックス」というサービスもございます。詳しくはNTT(116)へお問い合わせ下さい。

TelePortの接続にはS/T端子があるTA(DSU)が必要です。ご不明な方はお持ちのTA(DSU)のメーカー名と型番をギンガネットテクニカルサポート(06-7688-1717)までお知らせ頂ければ、お調べ致します。

ギンガネットセンターでは、NTT「INSネット64コンサルティング」申し込み・NTT「INSメイトV30Slim」購入のお取次ぎを致します。詳しくは、ギンガネットセンター(06-7688-1010)までお問合せ下さい。

### ② 設置場所を選びましょう

設置場所には、なるべく音の静かな場所をお選び下さい。カメラの背景は、明るめの単一色で統一するときれいに映ります。背後に人通りが多いと、カメラ映りが悪くなることがありますので、ご注意下さい。

カメラ調整でさらに映りをきれいに調節することが出来ます。(P52「映像音声設定」)

### ③ 以下の環境では、通信中に映像や音声が乱れたり、途切れたり、回線が切断されたりすることがあります。

#### (1) TA(DSU)とNTTの間で、配線を分岐させている。

お客様の知らない間に、配線が分岐された状態になっているケースがありますので、以下 ~ のような場合は、お客様から各サービス会社へ、通信形態の変更を通知して下さい。

自動ガス検針器や警備システムを設置している。

衛星放送・ケーブルテレビの課金システムが同じ回線を使用している。

ドアホン・ホームテレホンや内線電話(コードレスタイプを除く)・ビジネスホンなどを使用している。

#### (2) たこ足配線をしている。

(電源タップや延長コードを使って、同じコンセントにいくつも電源ケーブルをつないでいる)

電子レンジや冷蔵庫などの電化製品がたこ足配線になっていると、これらがノイズの発生源となることがあります。たこ足配線を少なくしたり、直接コンセントに接続するようにして下さい。

#### (3) モジュラケーブル(電話線)が長過ぎる。

モジュラケーブルは、回線ノイズが入りやすい構造をしています。従って、このケーブルを延長するとノイズも増加します。TelePortの設置場所と、回線への接続部分が離れている場合などは、モジュラケーブルではなく、「回線ケーブル」を延長するようにして下さい。(P66「用語集-モジュラケーブル」)

ご不明な点がございましたら、各サービス会社の担当者からギンガネットテクニカルサポート(06-7688-1717)までお問い合わせ頂いても結構です。

### 表記について

この取り扱い説明書では、3種類の記号を使って説明しています。それぞれの意味は以下の通りです。



…参照ページ



…注意点



…ワンポイント

## 安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使い頂き、お客様や他の人々への危害や、財産への損害を未然に防止するために、守って頂きたい事項を記載しています。本文で使用している表示と図記号の意味は次の通りです。本文をよく理解してからお使い下さい。



### シグナルマークのご説明

このシグナルマークは、社団法人日本電子工業振興協会で定められた警告表示を示します。このシグナルマークは、本製品をご使用頂く際にご注意頂く内容を説明しておりますので、製品使用前に必ずお読み下さい。シグナルマークで指示された内容については、必ずお守り下さい。

指示を無視した取り扱いを行いますと、警告表示された危険が発生する恐れがあります。

### 警告表示の種類

種類	危険度
	誤った取り扱いによって、発煙または発火の可能性が想定されることを示しています。
	誤った取り扱いによって、感電の可能性が想定されることを示しています。
	誤った取り扱いによって、けがを負う可能性が想定されることを示しています。
	誤った取り扱いによって、高温による障害の可能性が想定されることを示しています。
	安全のため、電源ケーブルのプラグを必ず抜くように指示するものです。
	安全のため、アース線を必ず接続するように指示するものです。



## 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

### 電源に関する警告

 	<p>電源はAC100V ± 10V (50/60Hz) の家庭用電源以外では、絶対に使用しないで下さい。異なる電圧で使用すると火災、感電、故障の原因となります。</p> <p>電源プラグはコンセントに確実に差し込んで下さい。電源プラグの刃に金属などが触れると火災、感電の原因となります。</p> <p>電源プラグの上に物を乗せないで下さい。コード損傷により火災、感電、故障の原因となります。</p> <p>電源コードの接続は、テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用したたこ足配線にしないで下さい。コンセントが過熱し、火災、感電、故障の原因となります。</p> <p>電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないで下さい。火災、感電、故障の原因となります。</p>
------	---

## 保管および使用環境に関する警告



本機を風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高い所では使用しないで下さい。火災、感電、故障の原因となります。  
設置環境条件は温度5～35 /湿度20～80%です。(結露しないようご注意ください)

## 禁止事項



本機の上や近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など液体の入った容器を置かないで下さい。液体がこぼれたり、中に入ったりした場合、火災、感電、故障の原因となります。

アースケーブルは、絶対にガス管につながないで下さい。

当社サービスマン以外は、本機を分解・改造しないで下さい。火災、感電、故障の原因となります。

当社サービスマン以外は、本機内部の点検、調整、掃除、修理は、危険ですから絶対にしないで下さい。本機の内部には電圧の高い部分があり、火災、感電の原因となります。

本機内部の点検、調整、掃除、修理は、ギンガネット正規保守サービス窓口にご依頼して下さい。

## 異常時およびトラブル時の警告



万一、本機の内部に水等が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、ギンガネット正規保守サービス窓口にご連絡下さい。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。

万一、本機を落としたり、破損したりした場合、電源プラグをコンセントから抜いて、ギンガネット正規保守サービス窓口にご連絡下さい。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。

万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、ギンガネット正規保守サービス窓口にご依頼下さい。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。お客様による修理は危険ですので絶対におやめ下さい。

電源コード等が傷んだときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、ギンガネット正規保守サービス窓口にご依頼下さい。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。



## 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害が想定される内容を示しています。

## 電源に関する注意



電源プラグを抜く時は、必ずプラグを持って抜いて下さい。コードの損傷による火災、感電の原因となることがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないで下さい。感電の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントに接続しているときは、濡れた手で本体に触らないで下さい。感電の原因となることがあります。機器を接続する場合には、必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。電源プラグをコンセントに接続したまま機器を接続すると、感電の原因となることがあります。

## 保管および使用環境の注意



本機を油飛びや湯気があたるような場所、ほこりの多い場所に置かないで下さい。火災、感電、故障の原因となることがあります。

本機を直射日光の当たるところや、温度の高いところ(35℃以上)に置かないで下さい。内部の温度が上がリ、火災の原因となることがあります。

本機を不安定な場所(ぐらついた台の上や傾いた所など)に置かないで下さい。落ちてけがの原因となることがあります。

本機を振動、衝撃の多い場所に置かないで下さい。落ちてけがの原因となることがあります。

付属品を本機に接続しておく場合は、接続部分に上下方向からの圧力がかからないように注意して下さい。故障の原因となることがあります。

ラジオやテレビが受信している付近で使用しないで下さい。ラジオやテレビにノイズが入ったり、本機の動作が異常になることがあります。

本機をテレビに接続した状態でテレビ放送を受信すると、画面にノイズの入ることがあります。このような場合、本機の電源をオフにしてご使用下さい。

本機は、空冷のため、本機の通気孔に物を置かないで下さい。内部の温度が上がリ、火災の原因となることがあります。

側面を5cm以上空けて下さい。

## 禁止事項



本機や電源コードを火気やストーブなどの熱器具に近づけないで下さい。キャビネットや電源コードの被覆が溶けて、火災、感電、故障の原因となることがあります。

本機の通気孔などの開口部から内部に金属類や燃えやすい物などの異物を入れないで下さい。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となることがあります。

本機の上に乗ったりしないで下さい。壊れてけがの原因となることがあります。

本機の使用直後は、装置内部に発熱する部分があるため、手を触れるとやけどをする恐れがあります。

## 異常時およびトラブル時の注意



落雷のおそれのあるときは、本機の電源をオフにし、必ず電源プラグをコンセントから抜いて使用をお控え下さい。雷によって、火災、感電、故障の原因となることがあります。雷が鳴っているときは、電源プラグに触れたり、機器を接続したりしないで下さい。感電の原因となることがあります。

## お手入れに関する注意



本機のお手入れの際は、安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行って下さい。アース線を接続しないと、感電、故障の原因となります。

ベンジン、シンナーなど揮発性の薬品では拭かないで下さい。変形、変色の原因となります。汚れがひどいときは、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませて軽く拭いて下さい。

## 廃棄時のご注意

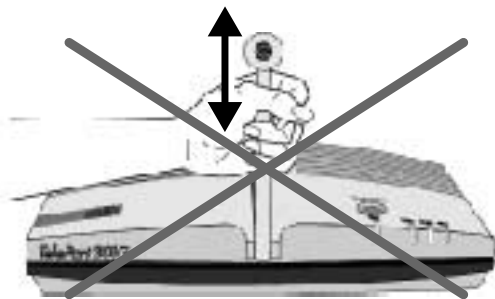
本機器を廃棄する時は、地方自治体の条例に従って処理して下さい。詳しくは、各地方自治体へお問合せ頂くか、ギンガネット正規保守サービス窓口にご依頼下さい。

## カメラアーム部取り扱いのご注意

使用後は必ず収納して下さい。

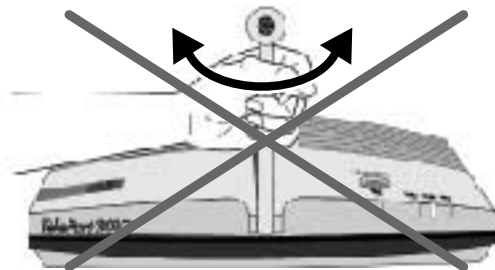
内蔵カメラは使用後に必ず元通りに収納するようにして下さい。起こしたままにすると、ぶつけたり、落としたりした際に破損する恐れがあります。

アームをつかんで本体を持ち上げないで下さい。



アーム部が破損する恐れがあります。カメラアームをつかんで本体を持ち上げたり、移動させたりしないで下さい。

カメラを左右に振ることはできません。



カメラ部は上下に動かせますが、左右に振ることはできません。ご注意下さい。

## テレビの上へ設置する際のご注意

添付のマジックテープで必ず固定して下さい。

落下防止のため、テレビの上に置く際は、必ず添付のマジックテープでテレビに固定して下さい。

(別紙「取り付け例(ピンクの紙)」)

マジックテープの貼り付け面のホコリ、汚れ等を拭き取ってから貼り付けて下さい。

マジックテープのテレビに対する前後方向の貼り付け位置は、使用するテレビに合わせて決めて下さい。

## 輸出する際のご注意

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規制等には準拠しておりません。本製品は日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等を行っておりません。

## 情報処理装置等電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。